

令和6年度

東明小だより

令和7年3月26日
第13号



受け継がれた願い



校長 吉田 尚子

東明小学校に赴任して2年、校区内の多くの方々や自然・文化・史跡に出会うことができました。城下町を感じることができる久々利の街並みや、紅葉がとても美しい豊蔵資料館など、初めて知った感動も多かったです。

その中でも特に、私が心に残っているのは、赴任当初お聞きした可児郷土歴史館にある銅鐸のお話です。



この銅鐸は、江戸時代にこの地域で見つけれ、その後、尾張名古屋の藩主に献上され大切に保管されていたものです。しかし、江戸時代から何百年もたった昭和48年、可児郷土歴史館が建設されるにあたり、地域の人たちがとてもたくさんのお金を払い、自分たちの力で、再びこの銅鐸を地域に買い戻しました。

それは、地域で見つけれられた郷土の宝を、これから先、住んでいる人たちにずっと見てもらいたいという、願いが始まりだったそうです。

当時の人たちにとって、お金よりも大切なもの。それは、ふるさとへの思いでした。そしてその思いは、それ以後、地域の人々の心の中に脈々と引き継がれ、今もこの東明の地にずっと受け継がれ息づいています。このことは、多くの地域の方々とお会いする度に、私自身も強く感じました。

人はだれでも自分を支えてくれる場所があります。

私にとってその場所とは、小さい頃、学校まで通った通学路の風景です。そして、その思いは、時には私を支え、励まし、うれしい時も苦しい時もいつも私の支えとなっています。

遠い昔から多くの方の思いを受け継いできたここ東明の地、この場所が、子どもたちにとって、これからもずっと心の支えとなり、人生を共に歩む場所となることを心から願っています。



(6年生ありがとうの会より)

205日間の令和6年度が終わります。お子様の卒業・進級おめでとうございます。

また、保護者や地域の皆様には、学校の教育活動に対し、温かいご理解とご支援をいただき誠にありがとうございました。心よりお礼を申し上げます。

来年度も子どもたちの笑顔のために、よりよい教育活動を進めていくよう職員一同努力していきたいと考えております。

変わらないご支援をどうぞよろしくお願いいたします。